



東京金山会通信 No. 7

東京金山会 広報担当 (藤山善夫)
☎080-5525-0435
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

9月16日、山形県人東京連合会第81回県人まつり(山形県人東京連合会総会)がホテルニューオータニ東京で開催されました。総勢884名の山形県人が集う中、東京金山会からも17名の会員が年1回の大イベントに参加してきました。

山形県人東京連合会では、山形県全域の在京ふるさと会の会員と関係者が一堂に会し、情報交換した

り、山形県的话题を共有したりして交流を深めています。一昨年は、「最上地域ふるさと連合会」が幹事にあたり、当会も司会をはじめ様々な場面でその責務を果たしました。

会場では、お会いする機会の少ない地域出身の方々とも交流をし、我が故郷金山町と東京金山会を大いにアピールしました。



【左から】山形県人東京連合会総会での一コマ/9月28日、第61回総会報告集とかねやま会だよりを無事発送完了。来年の総会で皆さんと会える楽しみに笑い話が絶えませんでした/東京金山会のQRコードを作成しました!金山町のホームページにアクセスします

「森の子ども図書コーナー」 No.166 交流サロンぽすと内



バムとケロのおかいもの
島田ゆか作/絵

一週間の真ん中の水曜日、いつも朝寝坊なケロちゃんも珍しく早起きをしてコーヒーを入れたり、朝食にパンケーキを作ったりと家のことをしてくれました。なぜかって?その日は月に一度のお買い物の日だからです!市場には楽しいお店がいっぱい!どんなお店があるのかな?個性豊かかわいいいキャラクター達や愉快なお店に心躍る一冊です。買い物に行くのがちょっとだけ楽しくなるかも?「バムとケロ」シリーズはこのほかにもたくさんあります。是非お気に入りを見つけてみては?



※()内作者名

ぎりぎりいきもの事典(成島悦雄)/ぼくとニケ(片山優子)/ある晴れた日の朝(小手鞠るい)/この川のむこうに君がいる(濱野京子)/休日が楽しみになる屋ごはん(小田真規子)/あらゆるストレスが消えていく50の神習慣/ゴミ清掃員の日常(滝沢秀一)/

「図書室だより」

中央公民館内 9:00 ▶ 16:00

「流浪の月」
風良ゆう/東京創元社
せつかくの善意を、わたしは捨てていく。そんなものでは、わたしはかけられも救われない。愛ではない。けれどそばにいたい。新しい人間関係への旅立ちを、実力派作家が描いた傑作小説。再開すべきではなかった男と女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人を巻き込みながら疾走を始める。



「ムゲンのー」
知念実希人/双葉社
眠りから醒めない四人の患者、猟奇的連続殺人、少年Xの正体。すべては繋がりに、世界は一変する。若き女医は不思議な出会いに導かれ、人智を超える奇病と事件に挑む。夢幻の世界とそこに秘められた謎とは?医療ミステリーのような、ファンタジーのような小説。



今月は24冊!

むらさきのスカートの女(今村夏子)/渦 妹背山婦女庭訓 魂結び(大島真寿美)/図書室(岸政彦)/それでもがんばる!どんまいな犬と猫図鑑(今泉忠明) そのほか13冊

ぶんばい

金山杉俳句会報 第四三三回

かねやま紅風会

ミンミンの鳴くだけ鳴いて悔はなし
星川 きえ子

摘み採りし菊の香りや邪気払ふ
岸 あき子

庭隅に草陰揺れて菱月夜
高橋 洋子

かざす手に止まり羽うつ赤とんぼ
鶴沼 よし子

観音の指を離るる秋の蝶
阿部 サタエ

うろこ雲鳥海山を低うせり
阿部 サタエ

供花には欠かせぬ花の女郎花
阿部 サタエ

盆仕度嫁に委せて入院す
阿部 サタエ

秋風や猫とよりそふ散歩道
荒屋 阿部 勝子

秋晴れや笑顔こみ合ふ人形展
荒屋 関 喜美子

鎌持てば自負の腕なり稲を刈る
菅 越 庄司 けみ子

一品として間引菜も食卓へ
菅 越 庄司 けみ子

さんま焼く背筋伸ばして丸かじり
七日町 青柳 キエ子

笑みこぼる案山子まつりの令和かな
七日町 柴田 栖静

百選の稲穂波うつ棚田かな
七日町 柴田 栖静

古稀の関越えて仰ぎぬ秋の空
七日町 柴田 栖静

雨の中消ゆる焔の曼珠沙華
上 台 阿部 一步

いたましく乱れし萩の美しさ
上 台 阿部 一步

孫部活手花火のなきバーベキュー
栗飯へ笑顔くずさぬ遺影かな
七日町 村松 奈風

仲秋の澄みたる月へ酔ひゐるたり
栗飯へ笑顔くずさぬ遺影かな
七日町 村松 奈風

老いの坂くだるきざはし秋深む
栗飯へ笑顔くずさぬ遺影かな
七日町 村松 奈風

明日また歴史めぐりの秋の旅
栗飯へ笑顔くずさぬ遺影かな
七日町 村松 奈風

居座りは平にご容赦秋時雨
栗飯へ笑顔くずさぬ遺影かな
七日町 村松 奈風

山形大学の地域連携型サークル「Team道草」
道草だよりでは、彼らの町内での活動を紹介します!
「金山町×大学生」で産まれる新たな可能性を模索します



①岩円地蔵までの道中も神秘的 ②途中の湧き水

金山が大好きな大学生がInstagramで活動を発信しています!ぜひチェックを!



道草便り Vol.19

片貝地区「ゆっくりと歩きたい地区」

夏が始まる6月。私たちは初めて岩円地蔵を見に片貝地区に行きました。大学生で岩円地蔵を知っている者は「くわずか」。訪れる最中に思ったのは自然が豊かに感じられるということ。近くの駐車場から鳥居までの道には、山側から流れる小さな湧き水や田植えをしたばかりの小さな稲が広がる緩やかな棚田が広がっていました。進んで行くと30メートルくらいのスギ林の道が。歩くほどに飽きない景色がありました。岩円地蔵も大木も神秘的ですが、道中の景色も神秘的さを後押ししてくれているように思いました。地区に住んでいるご夫婦から、ダムができる前までは雨乞いにくる人も多かったと教えていただきました。今回の取材で感じたのは、地区のコミュニティの中で大事に守られている場所だということです。そして、大学生もゆっくりとリフレッシュすることができると片貝地区でした。今回、6月の片貝の自然を小さな動画にしているのぜひご覧ください。